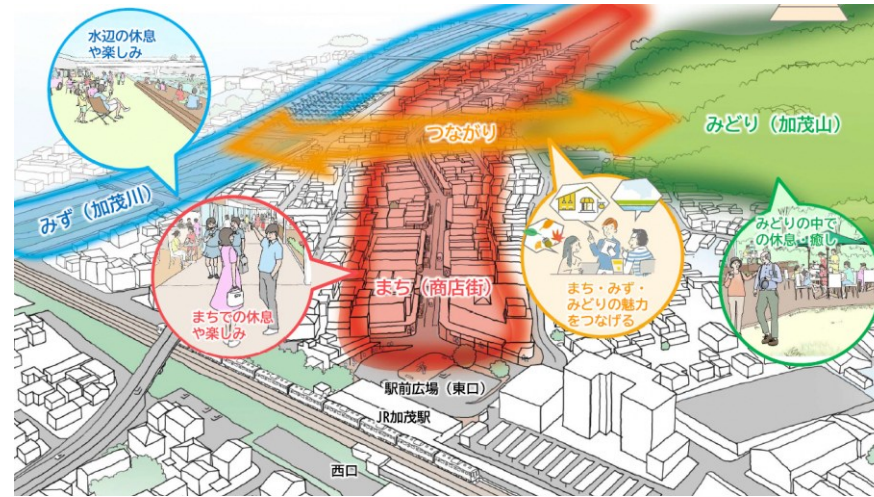


# まずは自分たちのまちの良さを振り返ることが大切！

## 【取組の概要】

加茂駅周辺は、アーケード付商店街、加茂川、加茂山がつながるウォークラブルな都市構造となっています。一方、駅利用者が多いにも関わらず滞留や回遊が生まれにくい課題がありました。そのため、官民の様々な主体が参画するエリアプラットフォームを構築して議論を重ね、「まちまるごとみちのえき」をコンセプトとした「未来ビジョン」を策定しました。今後、ビジョンに基づき憩い・休憩機能、地域の連携機能、情報発信機能の向上を図る取組を進めていきます。



加茂駅周辺の将来像



リノベーションまちづくり会議「KAMO NEXT TALK」

まちまるごと、  
みちのえき

～日常がとっておきになる～

## 【担当者インタビュー】

加茂市政策推進課 近藤真史さん



### Q. この取組におけるあなたの役割・担当は？

加茂駅周辺を賑わいと活力あふれるエリアとすることを目指し取組を行っている部局にて、市民、商店街、団体、有識者などに声をかけエリアプラットフォームを構築し、みなさんと議論を重ねて「未来ビジョン」を策定しました。

### Q. あなたにとってウォークラブルに取り組む「最初の一歩」はなんでしたか？どんなことを大切に取組を進めていますか？

自分のまちを振り返り、加茂駅周辺にしかない価値をみなさんと掘り下げることからスタートしました。住んでいる人は、自分たちのまちの良さに気づいていないことが多く、有識者やいろいろな立場の方の意見を聞いたことが貴重でした。他の先進地区のまねではなく、まずは自分たちのまちの良さをどのように活かしていくかを考えることが大切だと思います。

### Q. イベント時のみでなく、日常の居心地を良くするために、どのような取組をしていますか？

加茂駅は学生利用が多い一方で、これまで若者がまちに滞在するスペースがありませんでした。そこで、駅前の商業施設の空いたフロアを市が買い取り、フリースペースとして開放したところ、学校帰りの学生が集まる場所になりました。商店街の中にも学生が立ち寄りたくなる店が出店するなど、好循環が見えてきました。

### Q. これからのウォークラブル施策に求められることは何ですか？

ウォークラブルは、単に「歩きやすい空間」を作るのではなく、「歩きたくなる空間」を作ることが大切だと思います。まずは沿道への出店を促す民間事業者への支援など、コンテンツを充実させることを第一に考えるような制度となるとよいと考えます。加茂駅周辺でも、今後リノベーションまちづくりを進めていく予定です。